

JET からの手紙

CIRとして工夫しているところ

高知市総務課 国際交流員

Taro Joe Yanagitsuru (ヤナギツル・タロウ・ジョー)

私は国際交流員（CIR）として、2016年8月に高知県高知市役所に赴任しました。高知に来た当初は1～2年働いてアメリカに帰ろうと考えていたのですが、なぜか高知に居着いてしまい、「幻の5年目」（通常は3年）のCIRになってしまいました。現在、後輩CIRの2人（中国とインドネシア）と一緒に高知市役所で楽しくやっています。



高知市 CIR の3人

私の業務内容は、おそらくほとんどの市町村CIRと変わらないと思います。大まかに分けると、姉妹都市交流事業、翻訳・通訳業務、文化紹介、地元団体からの依頼などが主な業務になります。しかし、4年以上も同じことを同じ様にこなしてもつまらないので、私がちょっと工夫を加えているポイントを紹介したいと思います。姉妹都市訪問で通訳する筆者



文化紹介の工夫

写真を見てわかると思うのですが、私は日本人のような顔をしています。実は、日本人の両親を持つ日系2世のアメリカ人で、見た目が日本人であるうえに名前もほぼ日本語なので、高知ではしょっちゅう日本人だと勘違いされています。そのことが最初はコンプレックスで悩まされていたのですが、今となっては逆に強みだと感じ

ています。ここ数年は私の容姿を文化紹介で利用して「アメリカの多様性」や「アメリカ人とは」などのレッスンにつながっています。



高知県知事とミクロネシア連邦大統領の通訳をする筆者

さらに、時々やるのが「国籍クイズ」です。本来はCIR 3人が前に立って受講者に国籍を当ててもらうクイズですが、私が好きなのは、私の代わりに日本人スタッフ1人を後輩CIR 2人と一緒に立たせ、私が横で日本人の司会役のふりをするバージョンです。ちょっとずるいですが、正解を発表するときが面白いのでやめられません。

異文化紹介と人権講座

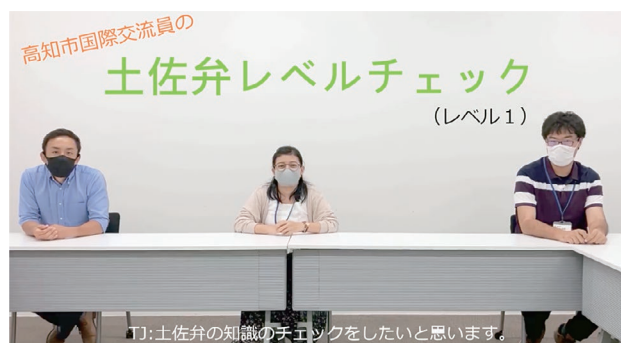
私がCIRとして異文化理解講座を始めた当初は、アメリカと日本の文化的な違いを普通に紹介していたのですが、アメリカは日本と密接な関係があるせいか受講者は皆アメリカについて意外と詳しく、興味深い講座にするのに苦戦していました。

そこで考えたのが、アメリカの文化に加え、アメリカの価値観やアメリカ人の持っている感覚を盛り込むことでした。やっていくうちに特に人種差別や人権尊重の内容が好評になり、最近は高校生や大人向けに人権問題に関する講座を開くことも増えています。今年度は市役所の全職員向けの人権研修で私たちCIRが講師となり、私はステレオタイプが偏見と差別にどのようにつながっているかを説明し、ジョージ・フロイド事件（アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリスでアフリカ系アメリカ人

が白人警官に暴行され死亡した事件) に対してアメリカで起きた大規模デモについても触れました。このような内容を同僚たちに紹介できたことに特にやりがいを感じました。

コロナ禍でできること

今年は新型コロナウイルスの影響で世界中のさまざまなイベントや行事が中止になり、高知市でも国際交流イベントを開催できない状況が続いていました。それに対応して私たちの係で考えたのが、日本人向けの文化紹介や外国人向けの告知などを動画で撮影して高知市 CIR の Facebook ページに投稿することです。



土佐弁 (高知の方言) を紹介する動画のスクリーンショット

まだ動画数や視聴者数が少ないのですが、見てくださっている人には意外と好評のようで、中でも日本在住の外国人向けの告知動画などが地元のテレビで取り上げられました。これからコロナの状況がどう変わるか予想できませんが、集まらずに国際交流を促進する方法を引き続き模索していこうと思います。

業務外での活動

勤務時間外はできるだけ高知ならではの楽しみ方をするようにしています。よさこい踊り発祥の地である高知市では、毎年8月によさこい祭りが市内で開催されています。新型コロナウイルスの影響で中止となった昨年の大会を除いて、私は高知に来てから、夏は毎年よさこいを踊っています。よさこい祭りで踊ることはとても楽しいだけでなく、チームの人数が優に100



よさこいを踊る筆者

人を超えるので、高知で友達を作るのに一番効率が良い方法だと私は勝手に思っています。

他に、私の友達が立ち上げた「まんまる高知」という地方課題を解決することを目的とする団体を通して、ボランティア活動もしており、一昨年台風19号で被害にあった長野県へ災害ボランティアとして行ったこともあります。実際に被災地を訪れて復旧作業を手伝い、被災された方々の経験を聴くという非常に貴重な経験ができました。

最後に

ここでは全然述べ切れていないのですが、私は JET プログラムと高知市の皆様のおかげで期待を遥かに超える経験をする事ができ、この数年間で人として確実に成長できたと感じています。



稲刈りのイベントで刈った稲を持つ筆者

高知市の CIR として働くのは今年で最後ですが、私を受け入れてくれた高知市のために任期の終わりまで引き続き頑張っ、なんらかの形で恩返しをしていきたいと思ひます。人と人とのつながりを大切に、日々の業務に工夫を加え続け、仕事外の時間も充実させ、自分の強みを活かした国際交流を続けていきたいです。

プロフィール



Taro Joe Yanagitsuru

アメリカ・カリフォルニア州出身の日系2世。大学時代に滋賀県の龍谷大学に留学したのをきっかけに国際交流に興味を持つ。2016年8月から高知市役所に CIR として就任。趣味は釣り、ランニング、ダンス (よさこい、ヒップホップ)。